



学校だより

6月号

横浜市立菊名小学校

令和元年5月31日



時間を大切にすること

校長 野間 義晴

日本は世界でも時間に厳しいという話を耳にしたことがあります。今のように時間に厳しくなったのはここ100年ほどで培われた感覚です。調べてみると、明治時代に新暦と共に一昼夜を24等分する「定時法」が採用されるまで、季節によって時の長さが変わる「不定時法」のもとで暮らしていました。お寺やお城か鳴らす時の鐘によって時間を把握していたと言われていました。しかし、開港や文明開化によって鉄道や学校制度が整うにつれ、時間通りの感覚が重要視されていったそうです。

菊名小では、チャイムがなくても休み時間が終わると、子どもたちが自主的に教室に戻っていきます。本校で長きにわたりノーチャイムで行ってきた成果です。「誰かに言われるわけでもなく、時間を自ら気にして行動していく。」このように、自分自身が主体となって学校生活をコントロールしていくことは、とても大切な力です。異学年で行った「ふれあい遠足」でも、それぞれの班で活動する中で集合時刻について声をかけ合っていた姿が印象的でした。

折しも、6月10日は「時の記念日」であり、時間を尊重し、生活の改善・合理化を進める目的で、1920年（大正9）設定されました。およそ1350年前に天智天皇が初めて水時計を実用に供した故事にちなんでいるそうです。

時間は誰のものなのでしょう。時間はどこにも売っていない大切なものです。つまり、「時間＝人生」、もっと言うと「命」と言ってもよいでしょう。我々はとかく人生が無敵だと思いがちです。しかし、そうではありません。誰にとっても時間は有限なのです。ですから、一分一秒を大切に生きてほしいのです。そのために「やるべきことを丁寧に全力でやる。」それが、人生を、そして命を大切にすることに他ならないのです。

【水無月にそえて】そろそろ梅雨入り宣言が届く頃です。北のオホーツク気団と南の小笠原気団の互角の取組も、夏が近づくとつれてオホーツク気団が北方へと上がれば梅雨明けです。農作物にとっては恵みの雨。春と夏をつなぐ季節の架け橋でもあり、梅雨を楽しみたいと思います。



5月の活動から

生き生きと活動している子どもたちの様子をご紹介します。

ふれあい遠足

1・6年生 岸根公園

岸根公園の広場や遊具で楽しく遊びました。たくさん体を動かして、帰り道はへとへとでしたが、協力して活動を進めました。



ポイントの先生はどこにいるのかな？



上手にとべたね！

2・4年生 三ツ池公園

三ツ池公園までの長い道のりを、声をかけ合いながら一生懸命歩きました。公園ではグループで力を合わせ楽しく遊びました。



楽しい遊具がたくさんあるね♪



段ボールを使うとよくすべるね！



あと少し！がんばろう！！

3・5年生 四季の森公園

四季の森公園をぐるっと一周して自然を満喫した後は、ふれあい班でポイントラリーをしました。班で仲良くクイズをしたり、ゲームをしたりして楽しみました。



あつ、カメラだ！



消防署見学 4年

5月20日(月) 港北消防署見学に行ってきました。

消防車の仕組みや、消防署の方々の仕事について詳しく教えていただきました。

また、煙体験や消火体験などを通して、火の怖さや自分で身を守ることの大切さも学ぶことができました。

子どもたちは消防署員さんが24時間勤務していることや、消防車にも仕事によっていろいろな種類があることを知り、驚いていました。これからの社会科学習も楽しみです。



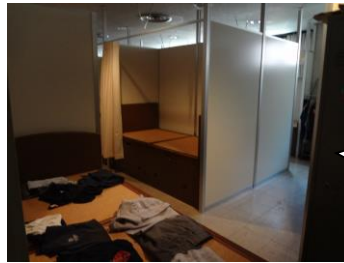
消防車の中にはいろいろな工夫が詰まっているんだね。

119番の連絡を受けてから、5~6分で現場にかけつけるそうです。

消火器で火を消すことって難しいね。消防士さんたちはすごいな。



消防士さんたちはここで寝泊まりして、いつでもすぐに出動できるようにしているんだね。



まち調査 3年



3年生は、菊名のまちの様子を見学しました。土地や建物、交通など菊名のまちの様子を方面別に調べました。



菊名のまちには細い道もあるんだね。

ここでは野菜を育てているんだね。



坂道がたくさんあるなあ。

